

「家がいいね」 第59号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2009. 4. 13

はなまる！

花冷えが続いたために、桜の満開も長く、



入学式には素晴らしい贈り物になりました。新緑も同時に重なって、新しい時の始まりが濃くなりました。



「自己責任」とは？

在宅で看取りの際に、死に目に会えなかった事が、まるで自分の責任のように悔やむ人がいます。生きるとは「一期一会」の連続なのに、その機会が無かったとも言ってしまうように考えておられます。通院では、ウツなどの病気の場合でも、その原因は至らなかった自分のせいだと悔やむ人がいます。なぜ、こんなにも「自己責任」を背負い込む風潮が蔓延するのでしょうか？それは、おおらかに生きる気力を奪われている結果とも言えそうです。

「生きていくだけでもいいんだよ」と言うメッセージが吹き飛び、「役に立たなければ」「定職を持たなければ」「ヒトではないとも言ってしまう価値観が幅を利かせ、若者がまず住みにくい世の中が背景にあります。「それはお前の責任だ」は、何かキャンペーンのように擦り込まれて来る嫌な言葉です。

「終わりよければ」いせの会のお知らせ

5月22日(金) 19時〜21時

観光文化会館4階 会議室

「エンディングノートの実践」

花井慶太さん(大阪・豊中 行政書士)

エンディングノートは、遺言書のような法的効力を持つものではありません。しかし自分の意思が伝わるための大切な整理をすることは出来ます。その実際のノートの例をお話いただきます。



Ise home care clinic

自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp

<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>

6月27日(土) 18時〜20時半

いせトピア 第2学習室

「地域でのリビングウイル活動」

長江浩幸さん(名古屋 南生協病院 医師)

救急医療や延命処置に、かねてから思っている自分の意思を反映する事にも準備が必要です。言い出しにくい選択を、肝心の医療者にどのように伝えたら良いのか、実践されておられます。

8月23日(日) 13時〜16時半

観光文化会館4階 大会議室

シンポジウム (シンポの講師は検討中)

「皆で書いてみよう 私のエンディングノート」
さあ実際に、自分で伝えたい事を書くことから、自分の人生の振り返りが始まります。その次には、今住んでいるこの伊勢の街を、少しずつ最期まで住みやすいものにする事も考えましょう。

休診と臨時開院のお知らせ

5月の大型連休の休診日は次の予定です。

4月29日(水・祝日)

4月30日(木・定期休診)

5月1日(金)

5月2日(土)

5月3日(日)

5月4日(月)

5月5日(火)

5月6日(水)

5月7日(木・臨時開院)



この間も在宅患者さんへの対応はいたします。
在宅でのご相談は、早めにお問い合わせをお願いします。